

3 PCB廃棄物対策（廃棄物対策課調査分）

PCB環境調査

【経緯】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）の豊田PCB処理事業所（細谷町）では、東海4県内の高濃度PCBを使用した高圧トランス、コンデンサー等を処理してきましたが令和5年度末で処理事業を終了し、現在は施設の解体作業が進められています。施設の立地による環境への影響を把握するため、施設建設前の平成14年度から大気、河川水質及び河川底質を、平成16年度からは土壌も調査媒体とし、継続して調査を行っています。

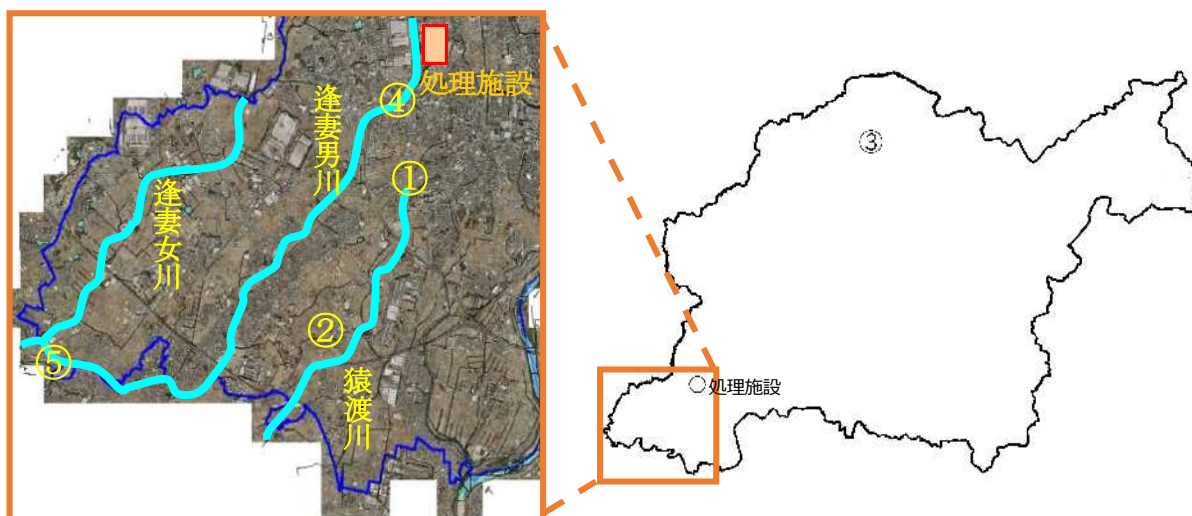
【調査概要】

ア 調査方法

表3-29 調査媒体と調査測定方法

調査媒体	調査測定方法
大気	・ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（令和4年3月 環境省） ・モニタリング調査マニュアル（環境省 環境保健部 環境保全課（平成16年度「化学物質と環境」））
水質	・日本産業規格 K0312（工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法） ・外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル（平成10年10月 環境庁）
底質	・ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（令和4年3月 環境省） ・外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル（平成10年10月 環境庁）
土壌	・ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（令和4年3月 環境省）

イ 調査地点及び測定回数



調査媒体	地点名	地点番号	測定回数
大気	山之手小学校	①	2回/年
	南部局（竹元町）	②	
	小原支所	③	
河川水質	逢妻男川（PCB 廃棄物処理施設直近）	④	2回/年
	逢妻男川（雲目橋）	⑤	
河川底質	逢妻男川（PCB 廃棄物処理施設直近）	④	1回/年
	逢妻男川（雲目橋）	⑤	
土壌	山之手小学校	①	1回/年

図3-8 調査地点図

【調査結果】

- ・ 令和6年度の調査では、すべての地点でPCBが検出されているものの、平成14年度から実施している環境省全国調査の濃度範囲内でした。

表3-30 地点別・調査時期別PCB調査結果

媒体	調査地点	項目	H14~H17夏季 (操業開始前)	H17冬季~R6夏季 (操業開始後)	R6 夏季	R6 冬季	H14~R3 環境省
大気	①山之手小学校	総PCB(pg/m ³)	94~300	21~810	290	62	16~3,300
		Co-PCBs(pg-TEQ/m ³)	0.0033~0.0051	0.000066~0.0055	0.0027	0.0008	—
	②南部局	総PCB(pg/m ³)	110~570	21~790	260	52	16~3,300
		Co-PCBs (pg-TEQ/m ³)	0.0034~0.0090	0.000074~0.0070	0.0031	0.0014	—
	③小原支所	総PCB(pg/m ³)	—	13~550	250	52	16~3,300
		Co-PCBs (pg-TEQ/m ³)	—	0.000063~0.0057	0.00098	0.00054	—
河川水質	④逢妻男川 (処理施設直近)	総PCB(pg/L)	1,300~1,500	120~2,000	1400	500	nd~11,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/l)	0.035~0.20	0.0014~0.10	0.091	0.015	—
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	総PCB(pg/L)	320~2,200	78~8,600	300	400	nd~11,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/l)	0.033~0.19	0.00085~0.096	0.0022	0.0095	—
河川底質	④逢妻男川 (処理施設直近)	総PCB(pg/g)	17,000	420~7,200	—	3000	nd~5,600,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	1.0	0.0064~0.20	—	0.079	—
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	総PCB(pg/g)	400	120~2,600	—	220	nd~5,600,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.022	0.0054~0.089	—	0.014	—
土壌	①山之手小学校	総PCB(pg/g)	220~360	19~1,200	19	—	—
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.070~0.12	0.000057~0.18	0.00009	—	—

※ 調査日 R6夏季 大気(R6.8.19~R6.8.20)、水質(R6.8.2)、土壌(R6.7.29)
R6冬季 大気(R6.12.26~R6.12.27)、水質・底質(R6.12.5)